

平成26年度 「まちづくり市民アンケート」 結果概要について



1 アンケート調査の概要

- 📌 目的 『まちづくり指標』の追跡調査
- 📌 対象者 15歳以上の市民 1,000人
- 📌 調査期間 平成26年9月3日～9月24日
- 📌 回答 502件（50.2%）

前回調査より0.8%アップ！（過去最高）



2 まちづくり指標

総合計画に定められた政策の
達成度や成果をあらわす数値

『市民の生活実感や行動』 + 『統計的数値』

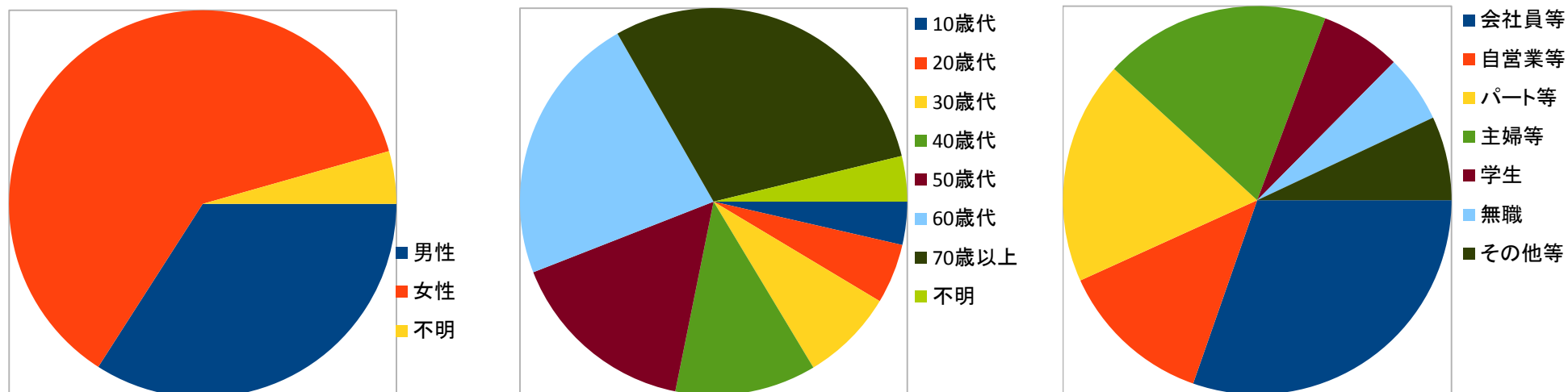


市民アンケートにより把握

指 標	基準値 (平成24年度)	平成30年度 における方向性
住んでいる地域では、住民がともに支え合 い、助け合って暮らしている	67.4%	

3 - 1 調査結果の概要(全体)

回答者の全体的な傾向は . . .



○ 『性別』...女性の割合が高い(61.6%)

○ 『年齢』...年齢が増すにしたがってアンケートの回収数が増加(60歳代以上が半数以上)

3 - 2 調査結果の概要(全体)

全体的な傾向は . . .

推移の状況	指標数
基準値(H24)と比較して、良くなっているもの (めざす方向性どおりに推移したもの)	33項目 (68.7%)
基準値(H24)と比較して、悪くなっているもの (めざす方向性と反対に推移したもの)	15項目 (31.3%)
合 計	48項目

★全項目のうち 2/3 が望ましい方向に推移★

4 - 1 調査結果の概要(UP)

良い方向に推移した主な項目①



まちづくり指標	基準値	現状値	増減
地域資源(自然・伝統)を活かした取組が進み、交流が活発になってきている	25.0%	34.7%	9.7%
市の職員は、市民の声に耳を傾け、熱心に仕事に取り組んでいる	29.7%	38.0%	8.3%
市民の意向が市政に反映されている	15.1%	22.3%	7.2%
小・中学校では、子どもたちが学習する教育環境が充実している	44.4%	51.4%	7.0%

4 - 2 調査結果の概要(UP)

良い方向に推移した主な項目②



まちづくり指標	基準値	現状値	増減
市役所の窓口サービスは利用しやすい	52.4%	59.4%	7.0%
行政だけでなく、市民や地域と協働でまちづくりが行われている	40.2%	45.8%	5.6%
医療体制が整い、傷病になっても安心して暮らすことができる	57.9%	65.2%	5.2%
地元でとれた農産物・畜産物を意識して購入している	45.9%	50.8%	4.9%

4 - 3 調査結果の概要(DOWN)

悪い方向に推移した主な項目

まちづくり指標	基準値	現状値	増減
買物や通院・通学のための移動に困っている	33.5%	38.8%	5.3%
住んでいる地域では、住民がともに支えあい、助け合って暮らしている	67.4%	63.7%	▲3.7%
西脇市に住み続けたい	70.7%	67.3%	▲3.4%
住んでいる地域に愛着を感じる	73.2%	70.1%	▲3.1%
住んでいる地域では、子どもたちが健やかに育っている	75.4%	72.9%	▲2.5%
日頃から健康に暮らしている	84.0%	81.7%	▲2.3%

5 - 1 調査結果の概要(分析)



医療に関する項目

まちづくり指標	現状値	増減
医療体制が整い、傷病になっても安心して暮らせる	63.1%	5.2%
医療機関では適正な受診をしている	84.9%	1.8%
かかりつけ医などがある	74.1%	1.6%



・医療に対する意識は高水準

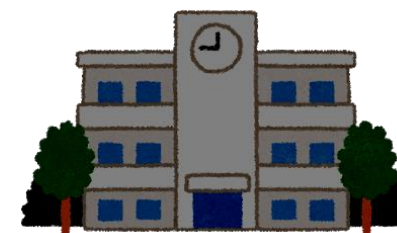


教育に関する項目

まちづくり指標	現状値	増減
小・中学校の教育環境が充実	51.4%	7.0%
教育において、地域・家庭・学校が連携	47.6%	3.6%



・校舎等の耐震改修や改築等が影響



5 - 2 調査結果の概要(分析)

観光・交流等に関する項目

まちづくり指標	現状値	増減
地域資源を活かした取組・交流が活性化	34.7%	9.7%
行政と市民・地域による協働のまちづくりが推進	45.8%	5.6%
市民が参加する交流イベントが充実	50.6%	2.2%
過去1年間に1回以上地域でのまちづくり活動等に参加	55.8%	▲1.7%

 ・観光・交流・まちづくり活動は活発化。ただし、昨年よりは低下

生涯学習・文化芸術・スポーツに関する項目


まちづくり指標	現状値	増減
過去1年間に生涯学習活動をした	31.3%	▲1.8%
過去1年間に文化芸術活動をした	37.5%	▲1.7%
過去1年間にスポーツ・レクリエーション活動をした	42.4%	▲0.9%

 ・これらの活動は、若干ではあるが低下傾向。

5 - 3 調査結果の概要(分析)

行政に関する項目

まちづくり指標	現状値	増減
職員は、市民の声に耳を傾け、熱心に仕事	38.0%	8.3%
市民の意向が市政に反映	22.3%	7.2%
市の窓口サービスは利用しやすい	59.4%	7.0%
行政と市民・地域による協働のまちづくりが推進	45.8%	5.6%
市政情報が分かりやすく提供	52.4%	4.4%
総合的に行政サービスに満足	37.8%	1.0%

- 
- ・市民と行政との距離が近づき、連携が強化
 - ・ただ、総合的な満足度の向上にはあまりつながらず



5 - 4 調査結果の概要(分析)

総合的な項目

まちづくり指標	現状値	増減
西脇市に住み続けたい	67.3%	▲3.4%
住んでいる地域に愛着を感じる	70.1%	▲3.1%
西脇市は暮らしやすいまちである	59.2%	▲1.3%



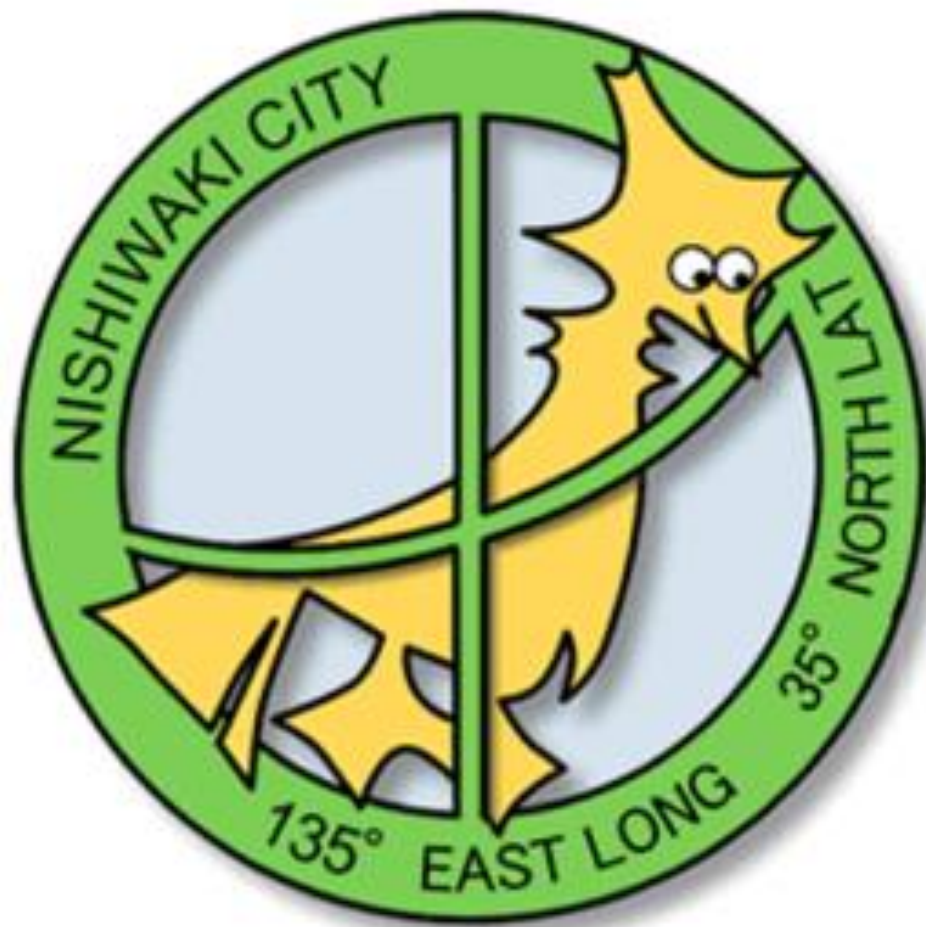
・全項目の3分の2が向上する一方、総合的な満足度は低下

指標値が低い項目

まちづくり指標	現状値	増減
働く場は充実している	15.5%	▲1.3%
市民の意向が市政に反映されている	22.3%	7.2%
A E Dを適正に使用できる	26.7%	1.8%



・働く場の充実は大きな課題
・市民意向の反映とA E Dの使用可能率は徐々に向上



西脇市